

グループ実習 30 年の歩み



30年を祝い「スパリゾート九十九里太陽の里」で式典を開催(令和7年2月22日)

さざなみ

第130号

ミッジョン
私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の明るい未来を開くため、総力を上げて支援を行います。

ベジジョン
豊かな自然の中で、社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、利用者とともに歩み続けます。

社会福祉法人 横の里
いすみ学園

昨年度グループ実習班は、作業班設立30年を迎える事が出来ました。これはひとえに（株）西川の皆様のご理解と利用者の仕事への定着によるものです。改めまして、多くの皆様方のご尽力と温かいご支援に感謝の意を申し上げます。

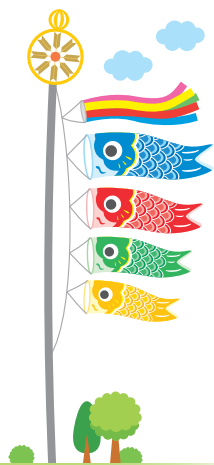
この30年の軌跡を辿ると、やはり勝浦工場で得た経験が現在のグループ実習班を支えていると感じます。当時、障がいのある方の社会進出は現在の様に進んでおらず、我々職員のモチベーションは、知的にハンディがあっても社会進出は可能であると信じ、必要と感じたことへのチャレンジの試行錯誤でした。そんな中、私たちの想定以上に利用者は仕事への意欲を示し、可能性の扉を自ら拓げてきたことも確認します。私たちが当初一番苦労したことは、挨拶に身だしなみに加え、新しい環境には思いもよらずとしたことが沢山あり、私たちはそれを一括りに「一般常識」と片付けてしまいがちですが、苦労が絶えなかった思い出があります。ただ、ありがたいことに会社側のご理解があり、我々もそこに甘んじる事無く個別に支援して参りました。会社側から評価されたことは仕事の実績であり、ここは学園さんに任せて大丈夫という信頼が今日まで継続できた証となります。一時期は勝浦、大原の各工場に分かれ、総勢18名もの利用者さんが作業に従事していました。区分判定でいうと概ね区分6の自閉症者で占めています。付き添う職員は既にこの段階では仕事の流れは成立しており、新人利用者をどの流れに組み入れるか精

査した展開でしたので大きな混乱なく成功しています。会社側のご都合もあり、2班が共に大原工場で働くようになり、利用者の高齢化も重なり、最終的に現在の9名の班体制となりました。30年の歳月と共に体制も変化しています。平均年齢も57歳となります。課題として現行の作業内容を再考し、会社側と長くお付き合いしていただくためにも作業の「細分化」についてご相談させていただいております。その一つが痒い所に手が届く「孫の手」の様なポジショニングを行いました。また以前、施設入所者の体験実習を取り入れて社会への参入に精力を注ぎましたが、再び比較的若い方を対象に施設入所者の参加を試みていきたいと考えています。

これからの課題は10年先を見据えていくことです。グループ実習班を「維持」していくことの大切さは、知的にハンディを抱えていても社会に立派に貢献した共生社会の一員として自覚を持ち世代交代をしていくことになりました。まずは一人から実践していき次の利用者に繋げていきます。

これからの10年は目標と課題が山積みですが同時に、新たな楽しみとして明るい未来になるよう2034年を目指していきます。

（統括主任 片岡彰則）



令和7年新年度を迎えて

社会福祉法人 檜の里 理事長 岡部 一 邦

学園の桜も満開、春爛漫の候となりました。一日には辞令交付式を実施して、私から新規採用のKさんに採用辞令をお渡ししました。

Kさんは、既に民間企業で活躍していました。が、障害を持つ人たちの伴走者として人生を歩んでいきたいと、減収覚悟で強い意思を持って学園の門を叩いてくれました。

我が国では人口が減少するなか働き方改革が進められ、働き手の不足が一層深刻な状況になってきました。

学園もご多分に漏れずマンパワーの確保が大きな課題となつていいるなか、Kさんの登場を心から歓迎します。

1ヶ月の実習期間で利用者や学園の日常生活を体験していますので、利用者の良きパートナーとして大いに活躍してくれるものと期待しております。

ところで、学園は昨年創立40周年の記念の年を迎え、年末になりましたが12月8日に「記念の式典」を開催しました。

利用者・保護者の皆さん、そして職員が日頃お世話になつていいる方々をお

招きして「内祝いの会」を開いて、学園の来し方に思いを致すとともに、これからの更なる充実を祈念する有意義な時間を共にすることが出来ました。

式典に花を添えてもらおうと、利用者の皆さんには学園歌斉唱をお願いしましたが、初めて歌うことになった学園歌を限られた時間の中で練習して、本番で披露してくれた素晴らしい歌声には胸が熱くなり感動しました。改めて拍手を送りたいと思います。

そして、本年は、学園の50周年を目指す最初の年となりますので、思いを新たにスタートを切りました。

これからの10年を展望するなか、重要な課題の一つは「終の住処」を実現すること、引き続き対策の推進に努めて参ります。

利用者の皆さんの高齢・虚弱化が進むなか、生活支援、日中活動、介護・医療などのサービスの一層の充実を図るとともに、中断している「新棟建設」の実現を図つて参ります。

そして、二つ目の課題は「自立支援施設」としての、新たな役割を担つて

いくことを考えます。

「何処で、誰と生活するか」を選択するのは障がい者自身であるとして、利用者が地域社会での自立生活を目指して、ADLなどの体験・訓練ができるような支援機能を備えた「自立支援施設」を目指して参ります。

学園が備えていく役割や機能などについては、これから学園内でじっくり議論して確認していきたいと思つております。

ところで、新型コロナウイルスとの戦いも既に5年が過ぎてしまいました。が、この間、ウイルスは変異を繰り返すなかで、毒性を弱めて、現在は感染予防法上ではインフルエンザと同格の5類に分類されました。

しかし学園では3月初旬に、再度クラスターが発生してしまいました。

幸い、全員が重症化することなく、回復することが出来ましたが、これを見ても決して樂觀出来る状況ではありません。

これまでの実績を自信に変えて、今まで同様の緊張感を持つて、「ウィズコロナ」の生活のなかで、利用者の気持ちに寄り添い、コロナ禍の終息を待ちたいと思つております。

今年度も利用者の皆さんの笑顔を守るために、「全員処遇」のチームワー

クで頑張つて参りますので、ご指導・ご支援を宜しく願ひいたします。最後になりましたが、悲しいお知らせを申し上げます。

永らく保護者会の会長として、また評議員会の議長として、学園運営へのご指導と、心のこもつたご支援をいただいた谷島慶彦様が昨年暮れに急逝されました。

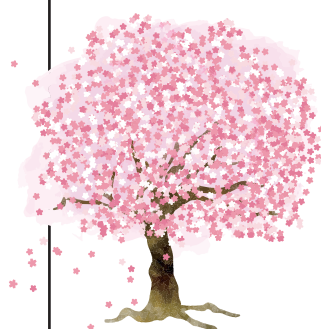
「40周年」にあたつて「愛・優しさ」と思いやり」の銘文を刻した記念碑を建立していただきました。

また、「創立40周年の記念誌」に「創立40周年を迎えて」とする祝辞をお寄せいただきました。

記念碑の銘文に込められた願いと記念誌への祝意と激励のお言葉を心に刻んで、これからの学園運営に努めて参ります。

改めて、永年に亘るお力添えに御礼申し上げるとともに、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(遺稿を次頁に再掲させていただきます)



創立四十周年に寄せて

保護者会長 谷 島 慶 彦

いすみ学園は昭和五十九年自閉症障害者の、明るい未来を開く入所施設として開設され、幾星霜の歳月を経て本年四十周年を迎え誠に感慨深いものがあります。その後いすみ学園は幾多の規模や機能の拡充を経て、入所施設の他グループホームや通所利用も含め現在の学園の姿に発展致しました。

いすみ学園の先人達のご苦労に心から感謝申しあげ又、現学園関係の皆様や保護者並びに後援者や行政及び地域の方々等、学園発展にご支援ご協力を頂き深く感謝申し上げます。

いすみ学園の利用者は「大人として生きる」を命題に、職員支援のもと仲間と共に働く事を通じて作る楽しみや我慢する経験を積み重ねて成長して来ました。そして利用者が親元から離れ、仲間と職員と集団生活を行うには、その底流に有る「優しさと思いやり」の心情が人間関係を育み、今日が形成されているものと思っており、支援する職員皆様の役割は大きなものが有ったと感謝致しております。

いすみ学園にとって、この十年間は

変化の時期で有ったと思います。特に大きな変化は人の高齢化と物の老朽化の問題で有ったと思います。

開設以来の理事長・施設長・事務長の経営陣が高齢に伴い退任いたしました。

そして、障害者福祉に造詣が有ります現理事長が就任され、職員に対して「利用者には温かな思いやりの心が不可欠で、それを支える専門的な判断力を持つ様に」との教えにより、職員の意識を変えられた事も大きな事で有ったと思います。

又高齢化の問題では学園開設時に二十歳の利用者は六十歳に、五十歳の親たちは九十歳になり、特に自閉症障害者は五十歳代を通じ身体機能の低下が増していくと言われていきます。既に数名の利用者が亡くなり、最近は利用者の入院事例が時々見られると共に職員や看護士に付添われて通院する利用者も増えて来ている様です。今後利用者のフレイル予防の対策が、更に重きを増して来るのではないかと思います

保護者会においても、特に父親の減

少が進み、母親も兄弟姉妹に付き添われて来る方が増え、更に単独で兄弟姉妹や後見人の参加も見られ、現在は面会日に毎回多くの方の出席が有るので嬉しく感じております。又、骨身を惜しまず障害の子の為に尽くして来た、高齢の母親の皆さんの頑張りに賛辞を惜しみません。保護者会活動も、この先高齢化で停滞しない様、兄弟姉妹の皆様は保護者会役員も含め、お力を貸して頂きたく、ぜひご協力をお願い致します。

物の老朽化では、利用者の生活棟他改修繕工事を重ねて来ており、又利用者高齢化対策の課題である、新棟建設による個室化は「新棟建設検討委員会」に保護者会も参加して基本構想を取り纏めました。しかし東京オリンピックに続くコロナ禍等、物価と人件費が高騰して建築費の大幅な増加により、財源の問題が重くのしかかり、今後の見通しが難しくなつて来ております。

ここ十年間に比し、今後の十年間は更に利用者の老齢虚弱化が進む事で、職員皆様に依存する割合が増えて来ると思われ、支援する職員皆様も新旧入れ替えが繰り返されますが、利用者を支えて頂く事を宜しくお願いいたします。

現理事長になり、いすみ学園は利用

者の「終の棲家」で有る事を表明頂き、親の皆様にとっては、利用者のこの先が見通せる事となり、皆さん肩の荷がおり心も軽くなった様で大変感謝しております。

いすみ学園の営みは、連綿と続くものであり、先行き入所施設の地域移行の福祉政策等に左右される事無く、利用者が充実した人生を送れる事を願ってやみません。

保護者会は、今後もいすみ学園を支えてゆく力となる様努力してまいります。どうか多くの皆様方のご支援ご協力を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

計 報

いすみ学園の発展に長らく寄与されてきた谷島慶彦保護者会長が昨年十二月二十四日に急逝されました。谷島様は保護者会長として保護者会の運営のみならず、利用者の健康、衛生、余暇など幅広い観点から助言、時には苦言を頂戴してきました。また行事等では利用者のおやつの提供など細やかな心配りを忘れることもありませんでした。ここに衷心より哀悼の意を表すると共に、今後のいすみ学園の更なる発展を約束したいと思えます。ご冥福をお祈りいたします。

作業班の紹介

外作業班

外作業班ですが、利用者の皆さんと共に、野菜作り（キュウリ、らっきょう、にんにく、ほうれん草等）、いすみ市からの委託業で、万木城の環境整備を中心に行っています。広域農道の植栽事業については、地域活動班の応援に入り、花の定植、除草を行っています。野菜作りでは、らっきょう、にんにくを加工班へ納品しております。その他の野菜は、レオックへ納品し、給食として提供されています。

現在、利用者の方も高齢化してきており、「健康面を第一」に考え、支援していきたいと思っています。

（支援員 三上慎一郎）



地域活動班

地域活動班は、委託業務を中心に行っている作業班になります。内容としては、いすみ市からの委託業務で広域農道の植栽事業、いすみ警察署の除草第一計器除草作業と、園外に出て作業を行っています。ただ、広域農道の植栽事業に関しては、花の定植、除草と作業が多く、外作業班に応援に入ってもらい進めております。

先方の方から、「綺麗にしてもらい、ありがとうございます。」と言ったばかりの事もあり、利用者の皆さん、とても励みになっております。今年度も、安全を第一に考え、進めて行きたいと思っています。

（支援員 佐久間雅也）



万木工舎班

万木班では、運動やマッサージ、ちぎり絵などの作業の他、生活面全般の支援を行っています。年々個別ケアが必要になって来ており、排泄・食事・入浴それぞれの場面において個々の対応も異なります。また、医療ケアも増えてきているため、看護師栄養士も含めて支援にあたっています。

昨年度は入院や静養が多く、全員がそろうということがほとんどありませんでした。利用者の方々が、健康で楽しく暮らせるように丁寧な支援をしていきたいと思っています。

（支援主任 吉田友希）



文化活動班

文化活動班は、ちぎり絵・刺し子・さをり織を中心に作業しています。午前中は万木班と合同で交流ホームでの運動も行い、静と動のメリハリある活動が出来るようにしています。

ちぎり絵は学園行事のポスター作りや季節の絵の掲示のほか、昨年度から電車イベントの装飾も行いうようになりました。ちぎるのが得意な方もいれば、貼るのが得意な方もいます。また、今年度より陶芸活動もと入れて活動します。一人ひとりの得意分野を生かして、みんなで大作を作ることが出来ると感じます。今年度も11名で元気に頑張ります。

（支援員 篠崎俊克）



作業班の紹介

グループ実習班

一面でも取り上げて貰いましたが、昨年グループ実習班は三十年の節目を迎え、今年度は三十一年度に突入します。そんな令和七年度は、特に利用者さんの健康面に留意していきたいと考えています。昨年度は学園内で感染症が大流行しましたが、日常的に多くの方と関わる中なので、マスクの励行、手洗いの徹底等その予防に努めたいと思います。又今年度は利用者さん九名の内五名が六十代となります。このまま長く実習を続けていくべきか、新たな活躍の舞台を提供するべきか、ここ数年はターニングポイントになるので、その小さな変化を見逃さず、利用者さんのその時の最善のQOLを提供していきたいと思っています。

(統括主任 片岡彰則)



石けん班

石鹸工場の横に鎮座している「夫婦塚」周辺に今年も春の訪れを伝えるレンギョウに桃の花、梅に桜と色とりどりの花が咲き誇り、私たち石鹸班の心を踊らせてくれました。自然の美しさに思いを馳せる今日この頃です。また春を迎えると、出会いや別れなど、さまざまなことを感じるがあります。そして今回職員の入替わりがありました。六年前在籍された大木さんが移動となり、新人の岸添さんが新たに石鹸班の仲間となりました。大木さん、多大なるご尽力本当にありがとうございました。そして岸添さん、個性あふれるメンバーと少しずつ理解を深めて信頼関係を築いてもらえたと思います。石鹸班の新たなスタートです。今年も一年間、どうぞよろしくお願い致します。

(支援主任 屋代精一)



食品加工班

食品加工班では年間を通して様々な作業を行い定番商品やイベント商品作りに日々励んでいます。

今年度は利用者九名、職員五名でスタートしました。顔ぶれも昨年度に引き続き同様です。ウィズコロナとなり2年が経ちましたが、高齢化も関係して感染症対策期間も多くあり、やむを得ず作業がままならない日は多いです。そのような中でも、可能な限り皆で力を合わせて安定した商品作りを心がけています。



利用者の皆さんも毎日元気に明るく作業を行っています。作業時間は立ち仕事が多いとはいえ運動量はどうしても少なくなりがちですので、運動を意識的に行い、体力アップを図っています。昨年後半より、晴れた日には作業

終わりに学園内、時には万木城まで足を伸ばして皆でウォーキングを楽しむ時間を作るようにしました。緑豊かな環境で季節の草花を眺めながらのウォーキングはリフレッシュにもなっています。

物価高騰の波はまだまだ押し寄せてきていて、今後も学園商品も価格の見直し、値上げを余儀なくされることと思います。併せて商品の質を落とさないためにもより丁寧な取り組みが必要です。商品研究委員会とも協力して既存の商品の見直しや新しい商品を考え、皆様に手に取って頂けるような魅力ある商品を目指していきます。また、商品等への様々な指摘は感謝と共に真摯に受け止めて参ります。今年度も皆様とご縁と感謝の気持ちを大切に皆で商品作りに一層励みたいと思います。

(支援主任 岩瀬祐三子)

生活班

パート職員三名で棟内清掃・洗濯物・居室整理など、毎日頑張っております。その他、体育館・美術館・コスモスの家・職員宿舎・アイロンかけや衣類修繕なども行っています。この時期は学園の桜が綺麗で、疲れも飛んでいきますね。癒されます。

朝は、支援員として移動の手伝い、ラジオ体操など、作業班に行くまでを利用者さんと過ごしています。利用者さんが気持ちよく学園生活を送れる様、三人で協力して頑張ります。よろしくお願いします。

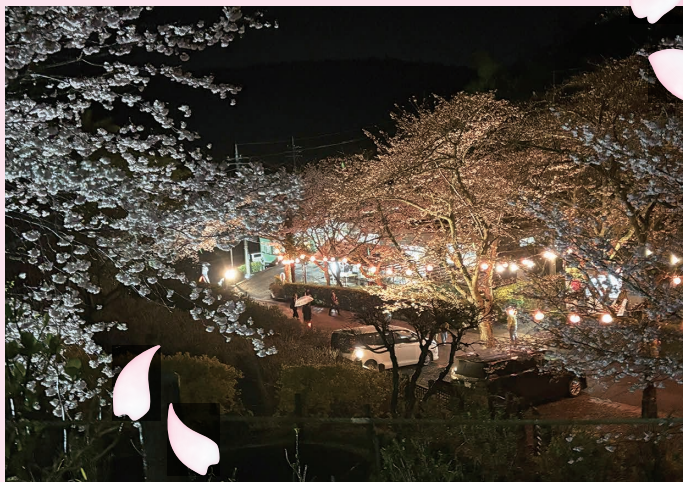
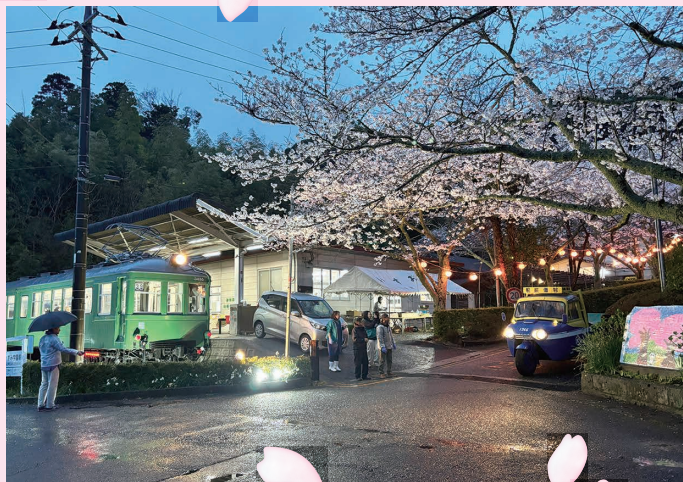
第二回 電車見学Day

令和六年度の最後の行事として、第二回電車見学dayを開催しました。今回は学園の桜を見ていただきたいという想いがあり、近隣の方中心にチラシを配布しました。準備期間は汗ばむほどの陽気でしたが、当日は雨も降って真冬の寒さに。そんな天候の中でも近隣施設の方やチラシを見て来てくれた方など、六十名ほどが来園されました。

下の作業棟前では職員が焼きそばを作り、出来立てを提供。宿舎前ではキッチンカーによるりんご飴の販売も行いました。天候不良により利用者のお花見は、全体では出来ませんでした。皆さん楽しみにしていたりんご飴を無事に購入出来て、いつもとは違うおやつに笑顔いっぱいでした。

いすみ学園の桜は見応えがあり、桜の時期になると色々な方が桜見物にいらつしやいます。この度初めて実施したお花見イベントですが、今後も継続出来たらと思っています。

最後になりましたが、ご協力いただいた方々にこの場を借りて感謝申し上げます。来年もまた綺麗な桜が咲きますように。
(支援主任 吉田友希)



感染症対策期間の為、予定していた外出はできませんでしたが、万木工舎にて共に過ごす仲間とお食事を開催しました。ドリンクで乾杯した後、外注のお弁当のカツとじ重やハンバーグ、カッカレーなど個々に好きな物を味わいました。食後は色とりどりのフルーツが飾られたプリンアラモードを皆で美味しくお腹におさめた後はのんびりゆったりと過ごしました。今年も皆で美味しい物を食べて、元氣よく過ごせますように。
(支援員 鵜澤美帆)



万木班 食事会

「第二回紅白歌合戦」開催

二月二十日、感染症対応の為直前まで開催が危ぶまれていましたが無事、第二回いすみ学園紅白歌合戦が開催されました。練習なしのぶっつけ本番。出場者のみなさんの本番の強さ、衣装や小道具で会場を盛り上げる職員。笑顔あふれる楽しい時間となりました。初めて大森あきらさんがボランティアで参加して下さいました。ダンディな歌声、一人ひとりと握手したり、一緒に写真を撮って下さったりする優しいお人柄にハートを掴まれた方続出でした。今年度も二月の開催となります。感染症シーズンですが、対策を万全に楽しく開催出来たらと思います。

(支援員 祖一陽子)



感謝録

いすみ学園
後援会会員の御寄付

令和六年四月から令和七年三月までの間に御寄付を賜りました「後援会会員」の皆様の御芳名を記載させて頂きます。紙面の都合上、敬称は略させて頂きます。

・石井千賀子・菊地一雄・小川枝子・銅谷勝子・西山光江・原井洋子・南澤恒男・末清節子・高田芳允・土肥真・小田嶋勉・稲葉伸子・飯田香・天野真弓・江幡誠・加林讓・(株)東昭建設社長・斉藤晴夫・大塚克行・久保喜平・渡部勇・斉藤昇・会田操・赤嶺淳一・泉富夫・泉洋子・大石担・勝俣洋子・北本三千代・志水嘉明・中村好秀・木造育代・吉田みつ子・喜屋武隆一郎・中川美津江・市川洋子・落合邦行・牧千代子・伊藤典子・谷島章彦・常本久美子・佐々木辰雄・北方政實・土田修二・末吉由子・仲佐明宏・岩崎陽子・岩崎アイ・中谷利一・飯島せつ子・若月ヒロ子・川端佐知子・森和子・森孝子・中野光夫・湯上宏子・花光智恵美・花光英和・高垣千代・森勝・亀山紀子・相沢雅代・伊藤明男・大谷光弘・甲斐友美・坊垣勝彦・横井葉子・山本和弘・杉山尚浩・水戸部章・栗山尚久・辻祐樹・中西宏仁・高橋昌也・中野達夫・清水孝・高尾美幸・関口達重・高橋茂子・関口いせ・小俣光弘・瀬田武久・山樹文子・斉藤恵子・高橋マリ・斉藤絵理子・麻生実・川野和永・苅米與エ門・苅谷豊・石井莊司・石井恵美子

・関芳弘・長田重孝・長田恵子・杉山秀樹・星田健二・永野悦子・斉藤明美・榎下順子・福本聡・愛川久子・尾科弘臣・中村文子・須田博子・木瀬三佐子・竹田千亜子・池田博樹・(有)池田金物店・土淵るり子・土淵精一・小泉眞理子・栗原小絵子・生方里江子・細谷雅子・日柄幸子・石田節子・田中一・重田真幸・佐々木幸雄・戸沢康弘・宿沢修・若林道子・矢澤千里・永江加代子・高澤文子・松島弘美・桐澤里津子・斧輝代・小野英子・木村奈津江・松戸裕子・川名教子・岩橋圭子・岩間美由紀・若林和子・小林美和・大木和斗・若林輝男・清水弘・清水千代子・高梨寿美枝・川本雅巳・清水從子・清水信之・斉藤誠司・猿渡まり子・星野参郎・高梨悟・卓初子・小林富次郎・松田美津子・後藤健一・後藤洋子・木野慶治・清水良憲・甘利紀子・岩澤廣元・池田瑞枝・鈴木たま子・後藤明子・平松金三・桐谷佳雄・益田英則・益田美代子・早川恵子・益田和也・今堀亨子・江尻和子・江尻尚樹・江尻恭仁子・江尻全機・吉澤恵美子・中村敬・中村ヤエ子・近藤和義・上野梢・岩本菊子・林慎子・米丸啓子・津倉京子・石川隆三・辻村邦康・白川康子・白川均・和座勝郎・高山純子・和座敬子・宮田茂・大原俊二・大原夏子・小野正夫・星芳・小泉千寿子・松中研一・松中耕二・小林章子・村野主税・権田孝・土井由起子・山之内玲子・伊藤恵子・篠原学・黒沢秀雄・月岡順子・石口真智子・杉本ふみ・古屋香代子・新藤千香子・西澤敦子・豊村幸夫・並木紀子・(株)ビーアイエー・神保電器(株)・山地純一・實方悦子・(有)松本設備工業・鈴木光治・(株)新清ハイッ・井上秀一・斉藤実・池田周平・細井好・長良幸男・瀧島幸子・原耕一・高山商店・高浦伸芳・北山静香・中森明子・西内恭子

楨の里祭 バザー商品提供のお願い

ご家庭で眠っている不要なものがありませんでしたらバザー品としてご寄付いただきますよう御協力お願いいたします。

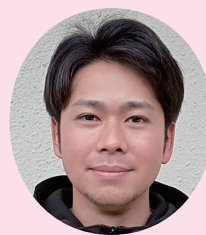
- 募集内容**
- ◎新品の食器・陶器類・台所用品・衛生用品
 - ◎日用雑貨・文房具・寝具・石鹸類
 - ◎書籍(絵本・漫画本・文庫本等)=百科事典は不可
 - ◎子供用品・おもちゃ・ぬいぐるみ・ゲームソフト(美品)
 - ◎ハンドメイド・アクセサリ類

※衣類・靴・バッグなどは、新品もしくはそれに準ずる物に限らせていただきます。

※硝子に入った人形はお受けできません。

※宅配便(元払い)伝票には「バザー品」とご記入ください。

受付期日 10月20日(月)15時まで持ち込み可能



岸添有哉

この度、いすみ学園の新入職員になりました岸添と申します。前職は、金融機関やインフラ関係の仕事をしています。

事をしていました。新しい職種となりますが、いすみ学園の職員として利用者の皆様が安心して過ごせるようまたご家族の皆様が安心して任せていただけるように、誠心誠意にご支援させていただきたいと思っております。どうかご指導のほど宜しくお願い致します。

よろしくお願いします

いすみ学園主要行事

感染症対策等で変更する場合があります。ご了承ください。

3月8日(日)	面会日
2月19日(木)	歌の祭典
5月(月)	新年会
1月2日(金)～4日(日)	一時帰宅
27日(土)	ケース会議
19日(金)	クリスマス忘年会
7日(日)	面会日
12月5日(金)	ボート外泊
11月15日(土)～17日(月)	一時帰宅
10月25日(土)	楨の里祭
9月7日(日)	面会日
15日(金)	花火大会
10日(日)～12日(火)	一時帰宅
8月10日(日)	ケース会議
7月24日(木)	夏祭り
13日(金)	ボート外泊
6月8日(日)	面会日
5月2日(金)～4日(日)	一時帰宅
4月13日(日)	面会日

図書コーナー

『福祉職員こころの強化書』を読んで

で、特に職員の心の状態が業務の質に大きな影響を与えることにとっても共感しました。

本書では、心の健康が福祉サービスの質や職場の雰囲気につながることを強調しており、私自身も日常業務を行う中でその重要性を実感しています。職員の精神的な疲労やburnoutが、利用者へ適切なケアを提供できなくなるだけでなく、自身のストレスや孤独感を増幅させる悪循環につながると解説されている部分は、非常に納得のいく内容でした。特に、自分を責めずに心のケアを優先することや、コミュニケーションを大切にすることの重要性を再確認できました。

この本を通じて、心の健康管理がいかに職務遂行に欠かせないかを再認識し、自分自身のケアや休息も怠らないように心がける必要性を強く感じました。福祉の現場は精神的に厳しいことも多いですが、心の状態を整えることで、より良い支援や対応ができること信じています。本書は、職員一人ひとりが自分の心の健康を大切にするための貴重な指針だと感じました。

(支援員 高地優輔)

いすみ市ふるさと納税

地域の魅力を伝える御礼品として全国に発信

・Amazonふるさと納税
・さとふる

(いすみ学園)



大地のめぐみセット
寄付金額12,000円

感謝録

次の皆様方から、たくさんの御寄附を頂きました。厚く御礼申し上げますと共に、今後とも尚一層の御協力をお願い致します。(順不同 敬称略)

・(株)ニチイケアパレス ニチイメゾン
稲毛・清水さおり・(有)岬サービス・原
井利明・大曾根祥二・(有)石野薬局・(株)
米本工務店・波多野電気管理事務所・
平なおこ・みどり産業(株)・せきぐち整
骨院・(株)西川・いすみ農業協同組合・
(株)レオック・松本設備工業(有)・渡邊電
設・(株)新清ハイツ・(株)ビーアイエー・
内山重浩・野川信太郎・(有)田辺印刷・
(有)高山商店・(株)ジェイアル東日本都
市開発・小泉風土・千葉ノミ(株)・川
瀬由紀子・大森あきら・関口智也・み
ずほ学園・田辺将基・(株)ナンカイ・小
倉順子・小倉美知子・品川区障害福祉
課・伊大知真澄・座間由美子・真行寺
一夫・伊藤幸子・味の素デジタルビジ
ネスパートナー(株)・皆川会計事務所・
三橋孝子・堀口賢二・東京都福祉局生
活福祉部・濱田美代子・金城正浩・中
山圭介・伊藤晴子

編集後記

今年も坂道の桜は綺麗な花を咲かせて、春の訪れを感じさせてくれました。新入職員を迎え、新年度がスタートし、早一ヶ月が経とうとしています。利用者の皆さんは高齢虚弱化が表面化していますが、安全・安心な生活が送れる様、職員一同全力を尽くしてまいります。日々の余暇や行事などで皆さんの笑顔が見られるよう支援していきますので、今後もご支援、ご協力の程、宜しくお願いします。

(さざなみ担当 末吉・鶴澤・土屋)
題字は 村田あけみさんです。